

さんかくダイアリー：9/25 みんなだれかと

本日の5校時、1年生の教室をのぞいてみると、道徳の授業を行っていました。「みんなだれかに」という題材でした。ねらいは、「自分の日々の生活は多くの人々の支えがあることを考え、広く人々に尊敬と感謝の念をもつこと」としています。人は身近な人に支えてもらったり、助けられたりして生活しています。それが当たり前と勘違いしてしまうと、「ありがとう」という言葉が出てきません。最近は大人同士でも「おかげ様で」という言葉が少なくなったように思います。今日の学習は、自分たちの生活を支えてくれている人々に改めて感謝する気持ちを確認する授業となりました。

